



2014年7月4日 尼崎市立塚口中学校

★注意「LINE」の使用方法を考えよう!★

先日、「友達削除」と言う言葉がニュースになりました。そのまま聞くと、かなりショックな言葉ですが、これは、急速に普及するスマートフォンの通話・通信アプリ「LINE」に追加された機能です。

ご存知だと思いますが、この「LINE」を利用したトラブルが全国で多数報告されています。中学生はグループ内でのメールに利用している場合が多いのですが、仲間内での通信のつもりが誤って別後グループにもれてしまい、トラブルになったケースや、「ラインはずし」と呼ばれる通話のグループから強制的に退会させられるケースなどが相次いでいます。また、全国の中学校では、スマートフォンや携帯電話の持込を原則として認めておらず、生徒が教師に相談するまでトラブルが発覚しない点も問題としてあげられています。

「LINE」は現在世界で4億人以上の人が利用していると言われています。それだけ大きなメリットもあるのは事実です。中学生にとっては、メールより楽、無料通話ができる。かわいいスタンプなどがある。相手が自分の送った文を見たら既読の文字がでる。複数人で会話ができるなどが上げられると思います。しかし、メリットであるはずの「既読の機能」も、返事が返ってこないと「見ているのに無視されている・・・」ととらえてしまうと、これもトラブルの原因の1つになってしまいます。そこで、もし「LINE」を使うことになったら、また、使っている場合に注意しておきたい問題点をピックアップしてみました。自分の周りの友達に迷惑をかけるためにも、「LINE」の危険性とその対策について知っておいてください。

{危険性1：設定しだいで知らない人とつながってしまう。}

友達リストに見知らぬ名前が並び驚いた経験はありませんか？設定を再確認し、余計なつながりはシャットアウトしてください。

対策1 これから「ライン」を使おうと思っている人は、登録時に「アドレス帳を送信しない」をクリックする。

*自分のスマートフォンに入っている友達や家族の住所やアドレスなどの情報が流出してしまいます。一度流出したものは消すことができません。

対策2 「友だち自動追加」「友だち追加への許可」をオフにする。

対策3 「ID検索を許可」オフにする。



{危険性2：出会い系サイト、アプリによる被害が多発!!}

見ず知らずの人と連絡をとることでトラブルに巻き込まれてしまう。危険な人の特徴は「個人情報をしつこく聞いてくる人」「Hな話をしてくる」「好意をよせてくる」など、アプリでのやり取りに慣れていない人にとっては判別が難しい時もあります。

対策1 もし怪しい人からの接触があれば、かたっぱしからブロックです。!!

*「せっかく仲良くなったのにブロックしたらかわいそう」なんて同情は不要です。被害を防ぐためにもしっかりした対応をしよう。

{危険性3：「LINE」を使ったストーカー被害にも気をつけて!!}

人ごとのように思えますが、実は、気がつかないうちに自分が加害者になっている可能性もあります。「友だちの友だちにまでつながりを広げている」「相手から返事が来ないと心配で一方的にメッセージを送ってしまう」これらに心当たりがあるひとはもしかしら相手からストーカーに認定されてしまうかも知れません。「LINE」に限らず、自分のネット行動は定期的に見直しをしてください。

対策1 「LINE」がなくなっても友人はなくなるらない

*「LINE」に悩まされる事があれば、思いきって退会するのも1つの方法です。「LINE」がなくても友達と連絡は取れるし、それで交友がなくなってしまうのなら本当の友だちとは言えないですね。

※退会方法

「その他」→「設定」→「プロフィール設定」→「アカウント削除」をタップして退会できます。一般的なアプリと異なり「LINE」などの無料通信アプリでは、データがサーバーに残ってしまわないよう、退会手続きをした後にアプリを削除する必要があります。

詳しくは「その他」→「設定」→「LINEについて」→「安心安全ガイド」をタップしてください。安心安全ガイドが表示されます。(学生のみなさまへ)(保護者のみなさまへ)(弊社の安全への取り組み)などのガイドをよく読んでください。